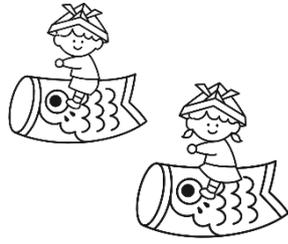


ゆりぐみだより



2025年度 5月号
尚徳福祉会 おぐら保育園



ゆり組になって1か月が経ちました。子どもたちの言動や行動からゆり組になった自覚も少しずつでてきたように思います。花や虫など、身近な自然に興味いっぱい、春の自然を楽しんでいます。きれいな桜の花びらを取りたくて、「風さんふーけ！もっとふけー！」と皆で言っていてかわいいです。暖かな陽の中で、元気いっぱい園庭遊びを楽しんでいます。

園庭遊び

お外遊びが大好きな子どもたち。雨が降っていない日は「今日は外で遊べる！」と、嬉しそうです。

《 園庭の子どもたちのエピソード 》

- お皿に、土や花、幼虫を乗せて、幼虫のお家を作っています。「幼虫を家に持ち帰りたい。」と言っていました。子どもたちと考え、幼虫もお家に返してあげようとなり、部屋に戻る時に土に戻すことになりました。
- 大縄は見ている子も一緒に回数を数えて、何回でも喜び合っています。見ている子たちは「足上げてとんで！」「30回目指そう！」等、アドバイスが飛び交っています。
- のぼり棒や鉄棒は「先生見てね」「こんなにできるよ」と、沢山披露してくれます。
- 砂場を深くまで掘って限界チャレンジもしています。担任でさえ、「砂場ってこんなに深い!?」と驚くくらい深くまで掘っています。

5歳児クラスになって

お当番の仕事が増えました。給食の前の机拭きの他に、給食後の床をほうきで掃く、雑巾がけをしています。「がんばる！やりたい！」と、やる気満々です。

給食の後は順番にちゅーりっぷ組に行き、寝かしつけのお手伝いを行っています。お部屋に戻ってくると「トントンしたら寝てくれたよ。」と、嬉しそうです。

ゆり組にしかできないこと、とやる気満々の子どもたちです。



こいのぼり制作

子どもの日やこいのぼりの由来を説明すると、興味津々に聞いていました。

スポンジに絵の具を付けて丸く模様を作り、こいのぼりを制作しました。「絵の具楽しい」「色が混ざると綺麗だね」「赤の色が強いね」等、色の変化も楽しんでいました。

